

信州そるがむのあゆみ

2013

長野市耕作放棄地再生可能エネルギー創出可能性調査研究事業を開始し、長野市内において実現可能な資源作物を調査し、「ソルガム」を選定した

Column

「信州そるがむ」の研究が始まったのは2013年からだが、信州大学がソルガムの研究を始めたのは2008年から。



2015

栽培

栽培マニュアルを作成

子実

第1回食品コンペを実施し商品化を進める

北陸地域づくり協会支援事業

・平成27年
・平成28年

2014

栽培

- ・栽培試験を開始
- ・栽培方法や地域に合う品種を確認

子実

試食会を開催

茎葉

市内事業者によるキノコ培地の加工、活用や市内農家による栽培を開始

エネルギー

キノコ廃培地によるメタン発酵ガス化発電をプラントで実施



2016

栽培

栽培講習会開始

子実

- ・第2回食品コンペの開催
- ・信州ソルガムエール販売開始

その他

連携中枢都市圏構想事業に位置付けられる

茎葉

キノコ試験販売



信州そるがむのあゆみ

2017

栽培

流通環境の整備
(実買取・搗精・販売)

子実

様々な商品化が進む

2018

その他

- ・ソルガムを任務として公募した
七二会地区地域おこし協力隊就任
- ・同隊員が信州産ソルガム普及促進協会
を立ち上げる



2020

栽培

流通環境の拡大

子実

学校給食への本格導入

長野県地域振興局
地域発元気づくり支援金事業

- ・令和3年
- ・令和4年
- ・令和5年

2022

栽培

市内栽培面積が増える
(2015:331a→2022:550a)
市内事業者によるソルガム流通量が増える
(2022:10.3t)

子実

市内を中心に16事業者が
ソルガム子実活用食品を製造・販売

エネルギー

- ・市内鋳物鋳造事業者による茎葉のバイオブリケット
製造開始
- ・信州大学工学部と中部電力(株)との共同研究開始
- ・信州大学工学部とJX金属商事(株)との包括連携協定

2021

栽培

「信州そるがむで地域を元気にする会」発足

